

直前補講 東洋医学概論 基礎から応用まで

問題 1

外感温熱病弁証の 4 段階のうち内風が生じるのはどれか。

- ① 気分証
- ② 衛分証
- ③ 営分証
- ④ 血分証

問題 2

気機について誤っているのはどれか。

- ① 喜——緩
- ② 思——結
- ③ 憂——沈
- ④ 驚——乱

問題 3

気機について誤っているのはどれか。

- ① 怒——上昇
- ② 考——外向
- ③ 悲——消耗
- ④ 恐——下降

問題 4

気機について誤っているのはどれか。

- ① 肝——上昇
- ② 大腸——外向
- ③ 胃——下降
- ④ 心——上昇

問題 5

気機について誤っているのはどれか。

- ① 宣発——外
- ② 肅降——外
- ③ 運化——上
- ④ 封蔵——内

問題 6

足太陽膀胱経脈病証に該当しないのはどれか。

- ① 咯血
- ② 衄血
- ③ 痔
- ④ 瘡

問題 7

熱極生風について適切でないのはどれか。

- ① 振戦
- ② 崩漏
- ③ 陰液が消耗
- ④ 血脈の流通は停滞

問題 8

気虚でみられないのはどれか。

- ① 気秘
- ② 懶言
- ③ 短気
- ④ 自汗

問題 9

気化作用の低下で現れる症状はどれか。

- ① 汗や尿が出ない、浮腫
- ② 寒がる、四肢冷え、顔面蒼白
- ③ 疲れやすい、精神疲労、息切れ
- ④ 自汗、カゼをひきやすい、悪風

問題 10

三焦について誤った組み合わせはどれか。

- ① 上焦——霧
- ② 上焦——滋養
- ③ 中焦——漚
- ④ 下焦——滄

問題 11

五更泄瀉の五更はどれか。

- ① 午前 1 時～3 時
- ② 午前 3 時～5 時
- ③ 午前 5 時～7 時
- ④ 午前 7 時～9 時

問題 12

便について適切でないものはどれか。

- ① 泄は大便が稀薄で出たり止まったりするもの
- ② 瀉は泄よりもさらに稀薄な水様便
- ③ 溏泄は泥状便
- ④ 飧泄は水様便がなかなか止まらないもの

問題 13

癱閉について適切でないのはどれか。

- ① 尿が出にくい
- ② 排尿がスムーズではない
- ③ 血流が閉塞する
- ④ 要因の一つに瘀血

問題 14

痛みの性質と病証との組合せで誤っているのはどれか。

- ① 重痛—瘀血
- ② 隠痛—虚証
- ③ 掣痛—肝血不足
- ④ 空痛—腎精不足

問題 15

五行色体において相剋関係にあるものはどれか。

- ① 噦—哭
- ② 微—腥
- ③ 満—生
- ④ 臭—唇

問題 16

気機が上へ向かう作用をもつのはどれか。

- ① 運化
- ② 伝化
- ③ 納気
- ④ 気化

問題 17

肺の生理特性で誤っているのはどれか。

- ① 通調水道に参与する
- ② 治節を主る
- ③ 生痰の源
- ④ 百脈を朝ず

問題 18

嗅覚により診察する方法はどれか。

- ① 巧技
- ② 神技
- ③ 聖技
- ④ 工技

問題 19

痛みの性質の病態の組合せで正しいのはどれか。

- ① 扼痛—気滯
- ② 刺痛—血瘀
- ③ 重痛—陰虚
- ④ 掣痛—陽虚

問題 20

疏泄の働きに参与しないのはどれか。

- ① 全身の陽を調節する。
- ② 胆汁の分泌を促す。
- ③ 血を全身に巡らせる。
- ④ 中焦の気機を調節する。

問題 21

奇経八脈病証で任脈の病とされるのはどれか。

- ① 寒熱に苦しむ
- ② 逆気して下痢
- ③ 疝気、月経異常
- ④ 心臓部痛に苦しむ

問題 22

六経弁証において寒熱往来・胸脇苦満・口苦・目眩・弦脈が見られるのはどれか。

- ① 太陽病
- ② 陽明病
- ③ 太陰病
- ④ 少陽病

問題 23

是動病に分類されるのはどれか。

- ① 邪が内にある病
- ② 臓腑の病
- ③ 他経の病
- ④ まず気が病む

問題 24

奇恒の腑について誤っているものを答えなさい。

- ① 精神活動及び感覚や運動を主る。
- ② 月経、妊娠、出産に参与する。
- ③ 津液が運行する通路である。
- ④ 髓の府とも呼ばれ、肢体を支える役割を担う。

問題 25

六腑について誤っているものを選びなさい。

- ① 中腔器官である。
- ② 水穀の精微を化生し、吸収する。
- ③ 起こる病態は実証が多い。
- ④ 胆汁の生成を行っている。

問題 26

六腑の説明で正しいものを選びなさい。

- ① 小腸は単独で動き、熱を産生する。
- ② 胆は独立して存在し、胆のみで機能失調を起こしやすい。
- ③ 大腸は肺の機能の補助を受ける。
- ④ 胃は喜燥惡湿の特性を持つ。

問題 27

風邪の特徴で正しいものを選びなさい。

- ① 脾を犯しやすい。
- ② 肺を損傷しやすい。
- ③ 百病の長と言われている。
- ④ 気と津液を損傷しやすい。

問題 28

内傷病因の説明で誤っているものを選びなさい。

- ① 飲酒は少量であれば健康維持に役立つ。
- ② 労倦とは精神的、肉体的疲労の事を指す。
- ③ 房事過多によりめまいや腰膝酸軟という症状が現われる。
- ④ 火傷は内傷病因に含まれ、陰液の損傷が起こる。

問題 29

次の説明について誤っているものを選びなさい。

- ① 内生五邪と六淫の相違点は発生機序の違いである。
- ② 内熱は内火より熱証の程度が強い。
- ③ 内風の事を肝風ともいい、肝と関わりが深い。
- ④ 内燥は火熱によって陰液が損傷することによって起こる。

問題 30

陰陽可分の法則に基づく考え方で五臓のうち、陰が最も極まっているとされるのはどれか。

- ① 肺
- ② 腎
- ③ 脾
- ④ 肝

問題 31

脈について誤っているものを選びなさい。

- ① 主な機能は生体物質の運行と情報の伝達である。
- ② 内外の環境や病因の特性を反映する。
- ③ 元神の府とも呼ばれる。
- ④ 心と関係が深い。

問題 32

津液について津が主となり滋養するものを選びなさい。

- ① 関節
- ② 臓腑
- ③ 脳
- ④ 九竅

問題 33

大腸湿熱のとき現れる可能性の低いものを選びなさい。

- ① 裏急後重
- ② 尿希薄で量が多い。
- ③ 黄膩苔
- ④ 口渇

問題 34

肝脾不和証について誤っているものを選びなさい。

- ① 脈は弦脈となる。
- ② 腹脹を呈する。
- ③ 急躁が起こる。
- ④ 脈は弦、舌は紅舌黄苔

問題 35

脈状の説明で代脈を表しているものを選びなさい。

- ① 拍動が勢いよく触れ、去るときに勢いが衰えるものの。
- ② 脈拍が規則正しく止まるもの。
- ③ 脈拍がやや遅く、不規則にときどき止まるもの。
- ④ 脈拍が速く、不規則にときどき止まるもの。

問題 36

心腎不交証について誤っているものを選びなさい。

- ① 脈は細数となる。
- ② 潮熱を呈する。
- ③ 腰膝酸軟がとなる。
- ④ 舌は厚黄苔を呈する。

問題 37

五行分類ですべてが同属でない組み合わせのものを選びなさい。

- ① 春・生・風・青・東
- ② 蔵・白・腥・商・西
- ③ 汗・苦・面色・久視・笑
- ④ 口・肌肉・思・歌・噓

問題 38

気や津液を損ないやすく、昇散性を持つ六淫を選びなさい。

- ① 寒邪
- ② 燥邪
- ③ 暑邪
- ④ 風邪

問題 39

五臓の精気が反映される部位とされ、形状などを観察することにより五臓の機能状態を診ることができるものを選びなさい。

- ① 五華
- ② 五官
- ③ 五体
- ④ 五味

問題 40

次の患者において正しい弁証名を答えなさい。「不眠、健忘、動悸、胸苦しさがあり舌がこわばりうまく話せない。舌淡白、瘦舌」

- ① 肝血虚
- ② 肝陰虚
- ③ 心血虚
- ④ 心陽虚

問題 41

問 41 の患者において現れやすい脈状はどれか。

- ① 数脈
- ② 洪脈
- ③ 細脈
- ④ 結脈

問題 42

奇経八脈のうち、十二経脈の海といわれる経脈の説明で正しいものを答えなさい。

- ① 陰経と陽経を協調させる作用がある。
- ② 陽経の気血を調節する。
- ③ 上下に走るかく経脈を束ね調節する作用
- ④ 胞宮より起こる。

問題 43

脾胃湿熱の場合にみられる味覚の異常感覚を選びなさい。

- ① 口淡
- ② 口甜
- ③ 口苦
- ④ 口酸

問題 44

十二刺のうち骨痺に対して刺鍼するのはどれか。

- ① 陰刺
- ② 輸刺
- ③ 賛刺
- ④ 短刺

問題 45

心肝火旺証で起こりにくい症状はどれか。

- ① 口渴
- ② 急躁
- ③ 不眠
- ④ 目のかすみ

問題 46

陽の機能低下により、相対的に陰の機能が陽より旺盛になるとき出現する症状はどれか。

- ① 消瘦
- ② 小便清長
- ③ 脈数
- ④ 潮熱

問題 47

衛氣營血弁証を提唱した人物を選びなさい。

- ① 吳鞠通
- ② 李時珍
- ③ 張仲景
- ④ 葉天士

問題 48

神について誤っているものを選びなさい。

- ① 神衰とは神の機能が高度に失調し、精神活動が極度に低下している状況である。
- ② 魄は感覚の異常として現れる。
- ③ 病理の本質は精神活動の失調と形神不具である。
- ④ 五志とは外界の刺激に対する情動反応である。

問題 49

古方派の吉益東洞が「医断」の中で最優先すべきと説いている診察法はどれか。

- ① 脈診
- ② 舌診
- ③ 腹診
- ④ 顔面診

問題 50

脈診について誤っているものを選びなさい。

- ① 平脈は1息に4－5至である。
- ② 脈律不整の脈状には結、代、促脈がある。
- ③ 六祖脈に滑濇を加えて八祖脈する。
- ④ 斜飛脈とは通常前腕前面に触れる拍動は背面で触れるものをいう。